この辞典の約束ごと

見出し語
赤字は基本語，星２つは第2次基本語を表す．
(➡1.❻)

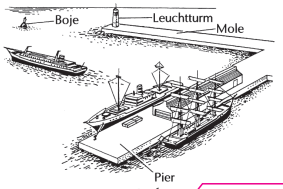
発音
国際音声字母（IPA）とカナによる表記．
(➡2., 発音解説)

複合語
(➡3.❹)

同綴異義語
(➡1.❶)

語の位相
(➡8.❾, 別表1)

Ha·fen[1] [há:f(ə)n ハーフェン] 男 ~s/Häfen [hé:f(ə)n ヘーフェン] (英 harbour) ❶ 港 (⛵図). ── einen ~ anlaufen 寄港する. aus dem ~ auslaufen 出港する. in einen ~ einlaufen 入港する. ❷ 避難(安息)所.
複合 **Fischerei·hafen** 漁港. **Handels·hafen** 貿易港. **Jacht·hafen** ヨットハーバー.



Hafen[1]

Ha·fen[2] [há:f(ə)n] 男 ~s/Häfen [hé:f(ə)n] ❶ 《南部·オーストリア·スイス》(陶製の)壺(つぼ), 鉢. ❷ 《北部》ガラス瓶. ❸ 《工》(ガラス原料を溶解するための)るつぼ.
Hä·fen 複 ＜Hafen[1,2].
Ha·fen·an·la·gen [há:f(ə)n|anla:g(ə)n] 複 港湾施設.

品詞
男：男性名詞
(➡4.❶)

単数２格／複数形
(➡10.❶)

語義
赤字は重要訳語.
(➡5.❷)

専門用語
(➡8.❿, 別表2)

複数形
(➡10.❷)

語構成
語を構成要素に分けるときの切れ目.
(➡1.❺)

Arzt [a:rtst アールツト, artst アルツト] 男 ~es/Ärzte [é:ɐ̯tstə エーアツテ, ɛ́rtstə エルツテ] (英 doctor, physician; 女 **Ärztin**) 医者, 医師. ── ein praktischer ~ 開業医. einen ~ konsultieren ([be]fragen) 医者に相談する, 診てもらう. einen ~ holen 医者を連れてくる(呼びにやる). zum ~ gehen 医者へ行く. [[ギリシャ語]]

女性形
(➡10.❺)

語源
(➡9.❶)

Gar·ten [gárt(ə)n ガルテン] [gɛ́rt(ə)n ゲルテン] 男 ~s/Gärten (英 garden; 小 Gärtchen, Gärtlein) 庭, 庭園; 菜園, 果樹園. ── einen ~ anlegen 庭をしつらえる. den ~ pflegen 庭の手入れをする. ein botanischer (zoologischer) ~ 植物(動物)園.

分綴点
(➡1.❸)

用例の始まり
(➡8.❶)

対応英語
(➡6.❶)

縮小形
(➡10.❺)

見出し語と同形
(➡8.❸)

関連語
見出し語に関連する日常生活上の主な単語や事項をまとめて示した.
(➡3.❷)

❀ 園芸用具のいろいろ
Blumenkelle 女 移植ごて Gartenbesen 男 熊手 Gartenmesser 中, Hippe 女 園丁ナイフ Grabgabel 女 鋤(すき) Hacke 女 くわ Kralle 女 小型手鋤 Pflanzholz 中, Setzholz 中 苗差し棒 Rechen 男, Harke 女 レーキ Rasenmäher 男 芝刈り機 Sprenger 男 スプリンクラー Schaufel 女 シャベル Schubkarre 中 手押し車 Spaten 男 (シャベル状の)鋤 Spritze 女 タンクスプレー Sprühflasche 女 ハンドスプレー

Burg [bʊrk ブルク] 女 ~/~en (英 castle, fort; ➡Festung) ❶ 城 (⛵図), 城塞(じょうさい), 山城. ── *Burg*hof 城の中庭 (⛵Burg 図). eine ~ belagern (verteidigen) 城を包囲する(守る). Ein' (=Eine) feste ~ ist unser Gott. 『神はわがやぐら』(ルターの教会賛美歌の一つ. バッハの編曲で有名). eine alte ~ ぼろ家. ❷ die ~ 《話》(ウィーンの)ブルク劇場 (⛵Burgtheater).
参考 「城」
Burg は要塞としての機能を持つ中世の城, **Schloss** は王侯·貴族の華美な居城(館·邸宅)を指す.

類義語
(➡6.❷)

( )は交換可能
(➡8.❻)

参照語
(➡8.❼)

類義語の解説
(➡3.❸)

se·hen [zé:ən ゼーエン]

ここがポイント

他〔h〕
● 見える，目に入る.── ***Sehen*** Sie den Turm dort? あそこの塔が見えますか. Ich ***sah*** ihn laufen. 私は彼が走っているのを目にした.
● (意図的に)見る，眺める.── Gestern habe ich die Ausstellung ***gesehen***. 昨日私は展覧会を見に行った.
● (人と)会う.── Ich wollte ihn unbedingt ***sehen***. 私は彼にどうしても会いたかった.
● 分かる，知る，認識する.── Ich ***sehe*** deutlich, was er meint. 私には彼の言うことがよく分かる.

〔*du* siehst [zi:st ズィースト], *er* sieht [zi:t ズィート]; sah [za: ザー]; gesehen [gəzé:ən ゲゼーエン]; (接II) sähe [zé:ə ゼーエ]; (命令) sieh [zi: ズィー], siehe [zí:ə ズィーエ]; ➡変化155〕(英 see) 他〔h〕❶ 《*et*[4]/*j*[4]》((何[4]/人[4]が)見える，目に入る，((何[4]/人[4]を)見る. ⇗schauen (参考). ── *Sehen* Sie den Vogel dort? あそこの鳥が見えますか. alles doppelt ～ (酔っ払ったりなどして)すべてのものが二重に見える. Land ～ 希望が見えてくる(＜陸地が目に入る). Ich habe es mit eigenen Augen *gesehen*. 私はそれをこの目で見た. Ich habe sie nie so böse *gesehen*. 私は彼女があんなに機嫌が悪いのをこれまでに一度も見たことがない. Niemand ist zu ～ 人っ子一人見えない. Von ihm (Davon) ist nichts zu ～. 彼の姿(それ)は影も形もない. Ich kann ihn nicht mehr ～! 《話》彼の顔なんかもう見るのも嫌だ. ── 《*j*[4]/*et*[4]＋不定詞[句]と⇗♦[1]》((人[4]/何[4]が…するのが)見える.── Ich *sehe* ihn laufen. 私は彼が走っているのが見える. Ich habe ihn laufen *sehen* (まれ: *gesehen*). 私は彼が走っているのが見えた. Ich habe das Unglück kommen *sehen* (まれ: *gesehen*). 私は不吉な予感がした.
♦[1] 完了形で不定詞のあとに置かれる過去分詞には gesehen の代わりに不定詞 sehen を用いるのが一般的である.

── 再帰〔h〕《*sich*[4]》《状態・結果を示す語句と》❶ (見て…の)状態になる.── Ich kann *mich* an dem Bild nicht satt ～. 私はこの絵を見飽きることがない.

── 自〔h〕❶ (視覚的に)見える，視力がある.── gut (weit) ～ よく(遠くまで)見える. nur auf (mit)

sich*[4] *mit et*[3] (*j*[3]) *sehen lassen können (人が)(何[3])(人[3])を自慢できる(人に見せても恥ずかしくない).
sich*[4] *sehen lassen können (成果などが)人前に出して恥ずかしくない.
➡ **gesehen.**

achtge·ben* [áxtge:b(ə)n] (➡変化62) 他〔h〕《auf *j*[4]/*et*[4]》((人[4]/何[4]に)注意する，気をつける，用心する. ⇗Acht[1].
つづり Acht geben とも. ただし，Acht が名詞として他の修飾語を伴う場合は2語に分けて書く. 例: größte *Acht geben* (最大の注意を払う). また，副詞を伴う場合は1語につづる. 例: sehr *achtgeben* (とても気をつける).

*** は 不規則変化動詞**
であることを示す.
(➡1.❼)

動詞の活用
重要な変化形を挙げた.
(➡11.❷)

格支配のパターン
(➡7.❶)

用例の区分
(➡8.❷)

棒見出し
他動詞，自動詞，再帰動詞，非人称動詞の区分を示す.
(➡4.⓫, 11.❽)

➡ は 別見出し
になっていることを示す.
(➡11.❿)

正書法
のバリエーション.
(➡8.⓮)

記述の詳しい語について ポイントとなる語義・用法
を枠囲みでまとめて示した.
(➡3.❶)

品詞
他：他動詞
〔h〕は完了の助動詞にhabenを用いることを示す.
(➡4.❷)

見出し語の変化形
(➡8.❹)

注解・解説
♦ 印をつけて，詳しい語法上の説明を添えた.
(➡8.❽)

熟語・慣用句
よく使われるものをまとめて示した.
(➡8.⓫)

┆ は 分離動詞
の前つづりと基礎動詞との切れ目を示す.
(➡1.❹)

巻末の動詞変化表
の62番を参照の意.
(➡11.❶)

alt* [alt アルト] 形 [älter [éltɐ エルター], ältest [éltəst エルテスト]] (英 old) ❶ (↔jung) (a) (人･動物･植物が)年老いた, 年取った, 老齢の.── ein ～*er* Mann 老人. ein ～*er* Baum 古木. meine ～e Dame《話》おふくろ. mein ～*er* Herr《話》おやじ. *Alter* Herr《学》(学生の団体･クラブなどの)先輩, OB; おやじ. ━《人名に冠して》der *Alte* Goethe 老ゲーテ. der ～e Schmidt《話》(＝Herr Schmidt senior) シュミット老, (息子ではなく)父の方のシュミット. ━《名詞化して》*Alt* und Jung (旧 *alt* und jung)/*Alte* und Junge 老いも若きも, 誰も彼も. der Konflikt zwischen Jung und *Alt*/Jungen und *Alten* 世代間の葛藤(ﾄｳ). ━ *sich*[4] ～ fühlen 老いを感じる. (b) 老いを感じさせる.── seine ～*en* Hände 彼の老いさらばえた手.

⓫《話》(a)《親しみを強調して》懐かしい.── mein ～*er* Junge (呼びかけ)おい, 君. (b)《嫌悪を強調して》いまいましい.── ein ～*er* Schwätzer どうしようもないおしゃべり.

⇨ älter, ältest.

ge·gen [gé:g(ə)n ゲーゲン] 前《4格と》❶《空間的》(a) (英 towards) i)《運動の方向》…の方へ, …を指して.── ～ den Himmel 空へ, 天に向かって. ～ Norden [hin] 北へ向かって. *sich*[4] ～ die Wand lehnen 壁にもたれかかる. ii)《位置》…の方に, …の方を向いて, …に面して.── *et*[4] ～ das Licht halten [何4]を明かりにかざす. Das Fenster liegt ～ die Straße [hin]. 窓は通りに面している. mit dem Gesicht ～ die Wand stehen 顔を壁に向けて立っている. (b) (英 against)《衝突》…と(に)ぶつかって.── Das Auto fuhr ～ einen Baum. 車が立木に衝突した. Regen klatscht ～ das Fenster. 雨がびしゃびしゃと窓を打つ. ❷ (英 against; ➡wider; ↔für)《逆行･対抗》…に反対して, …に逆らって, …と敵対して.──

denn [den デン] 接《並列》❶ (英 for) なぜならば, というのは…だから. ➡weil (参考).── Ich bleibe heute zu Hause, ～ es regnet. 今日は外出はやめだ, 雨が降っているから. Er kommt nicht mehr, ～ wenn er kommen wollte[II], wäre er schon da. 彼はもう来ないよ, だって来る気があればもう来ているはずだもの.

Be·kann·te [bəkántə ベカンテ] I 男･女《形容詞変化: ⇨Alte I》❶ 知人, 知り合い.── Er ist ein *Bekannter* von mir. 彼は私の知人だ. ❷《所有代名詞を付して》(➡Freund, Freundin)《婉曲》(誰それの)恋人.── Ich war mit meiner *Bekannten* verreist. 私はガールフレンドと旅行していた.
II 中《形容詞変化: ⇨Alte II》周知(既知)の事柄.

品詞
形：形容詞
(➡4.❹)

* は
不規則変化の形容詞
であるをことを示す.
(➡1.❽)

⇨ は
別見出し
になっていることを示す.
(➡13.❷)

[ ] は
省略可能
(➡8.❻)

品詞
接：接続詞
(　) は種別を示す.
(➡4.❾)

比較変化
(➡13.❶)

反義語
(➡6.❷)

旧正書法
(➡8.⓭)

品詞
前：前置詞
(➡4.❺)

前置詞の格支配
(　) はあとに来る名詞の格を示す.
(➡ 4.❺)

語義の分類
(➡5.❶)

形容詞変化の名詞
(➡1.❾②)

1. 見出し語

❶ 配列: アルファベット順に並べ，小文字を大文字の先に置いた．ä, ö, ü, ß はそれぞれ a, o, u, ss の後に置いた．同一のつづりで語源が異なる語は右肩に番号をつけ，別見出しとした．
❷ 正書法: 主に Duden, Die deutsche Rechtschreibung. 25. Aufl. Mannheim 2010. によった．
❸ 分綴: 語を原則として音節に分けるときの切れ目を・で示した．同上書によった．
❹ 分離動詞: 前つづりと基礎動詞との切れ目を┤で示した．
❺ 語構成: 語を構成要素に分けるときの切れ目を，原則として1箇所 ⌯ で示した．
❻ 基本語: 学習と実用において重要と思われる語を約7100語選び，赤字で示した．それらを3段階に分け，見出し語の頭に星印をつけた．⁂: 第1次基本語(約780語)，2行見出し，⁂: 第2次基本語(約1500語)，*: 第3次基本語(約4830語)．
❼ 不規則変化動詞(強変化，混合変化): 右肩に * をつけた．不規則変化と規則変化の両方があるものには (*) をつけた．
❽ 比較変化で語幹の母音が変音するなど，不規則変化をする形容詞・副詞: 右肩に * をつけた．規則変化と不規則変化の両方があるものには (*) をつけた．
❾ 語形変化する語:
① 名詞は単数1格，動詞・助動詞は不定詞，形容詞・副詞は原級を挙げた．
② 形容詞変化の名詞: 弱変化単数1格の形で格変化語尾をイタリック体で示し，格変化は Alte にまとめて表を掲げた．他の形容詞変化の名詞は ⇨ によって Alte I または Alte II を参照させた．
③ 定冠詞，不定冠詞，否定冠詞: 男性単数1格のところに格変化を表にして掲げ，用法，用例などもまとめて記述した．それ以外の性，数，格の変化形の見出し語は ⇨ によって男性単数1格を参照させた．
例: **den**... 冠《定冠詞》男性 der の4格・複数 die の3格; ... ⇨der.
④ 人称代名詞，疑問代名詞: すべての変化形を見出しに掲げ，語義，用法などを記述した．
⑤ 所有代名詞: 男性単数1格のところに用法，用例などもまとめて記述した．それ以外の性，数，格の変化形の見出し語は ⇨ によって男性単数1格を参照させた．また，mein, unser は格変化を表にして掲げた．
⑥ 指示代名詞，不定代名詞: der, derjenige, derselbe, dieser, jeder, einer は格変化を表にして掲げ，用法，用例などもまとめて記述した．それ以外の性，数，格の変化形の見出し語は ⇨ によって男性単数1格を参照させた．また，jener, all, manch, solch, welch はそれぞれ見出し語として記述し，変化については dieser を参照させた．それ以外の性，数，格の変化形の見出し語は ⇨ によって男性単数1格を参照させた．
❿ 数詞の一般的用法，用例は drei, dritt のところにまとめて挙げた．
⓫ 旧正書法による表記も見出しとし，新正書法による表記を参照させた．
例: **Fluß** Ⓡ ➞Fluss.

2. 発音

❶ 見出し語の後に国際音声字母 (IPA) による発音を［　］に入れて示した．
❷ 主として Duden, Das Aussprachewörterbuch. 6. Aufl. Mannheim 2005. によった．
❸ 基本語，一部の外国語，外来語には仮名による発音表記も添えた．
＊発音の詳細，IPA 表記，仮名発音表記などについては1767ページ以下の「発音解説」参照．

3. 枠囲み，関連項目，参考，複合語

❶ 語義が多岐にわたる語には，本文の前に ここがポイント の枠を設けて，主な語義，用法をまとめ，全体的な把握と検索の便宜を図った．
❷ 本文の後に ✹ で，見出し語に関連する日常生活上の主な単語や事項をまとめて挙げ，学習の参考とした．
❸ 本文の後に 参考 で，主な類義語をまとめ，意味，ニュアンス，用法などの違いを解説した．
❹ 本文の後に 複合 で，見出し語が基礎語となっている複合語で本辞典の見出し語になっていないものを挙げて，語彙の増強を図った．
＊枠囲み，関連項目，参考欄を設けた語の一覧は「枠囲みした記述」参照．

4. 品詞

❶ 名詞は性の表示によって示した．男: 男性名詞，女: 女性名詞，中: 中性名詞，複: 複数名詞．性に動揺のある場合は 男・中 などで示した．
❷ 動詞は 自: 自動詞，他: 他動詞，再帰: 再帰動詞，非人称: 非人称動詞の区別によって示した．
すべての動詞について完了の助動詞が haben か sein かを〔h〕，〔s〕で示し，両方が用いられる場合は〔h, s〕とした．
すべての再帰動詞に《*sich*[4]》，《*sich*[3]》をつけて再帰代名詞の格を示した．
❸ 助動詞は 助動 と表示．その後に《話法》，《未来・推量》，《完了》，《受動》の種別を示した．
❹ 形容詞は 形，副詞は 副 と表示．
❺ 前置詞は 前 と表示．その後に《3格と》のように，前置詞の格支配を示した．
❻ 冠詞は 冠 と表示．その後に《定冠詞》，《不定》，《否定》の種別を示した．
❼ 代名詞は 代 と表示．その後に《人称》，《所有》，《指示》，《疑問》，《関係》，《再帰》，《相互》，《不定》の種別を示した．

❽ 数詞は 数 と表示．その後に《基数》,《序数》,《分数》,《不定》の種別を示した．
❾ 接続詞は 接 と表示．その後に《並列》,《従属: 定動詞は後置》の種別を示した．
❿ 間投詞は 間 と表示．

⓫ 同一の見出し語の中で，他動詞と自動詞，副詞と前置詞などの区別がある場合は，━ (棒見出し)によって示した．

5. 語義

❶ 語義の分類: I, II, III…, ❶, ❷, ❸…, (a), (b), (c)…, i), ii), iii)… の順序．
❷ 基本語は重要な訳語をゴシック体の赤字で示した．
❸ 並列した訳語は ， で区切り，それら訳語群に多少の意味の差があるときは ； で区切った．

6. 対応英語，類義語，反義語

❶ 英 として，見出し語や語義の理解に役立つと考えられる場合，対応する英語を (　) に入れて挙げた．
❷ ➝ によって類義語，↔ によって反義語を挙げた．

7. 格支配のパターン

❶ 動詞，前置詞，形容詞などが目的語をとる場合，そのパターンをイタリック体で次の符号によって《　》に入れて示した．
例: **se·hen** …他〔h〕❶《et^4/j^4》(何4/人4 が)**見える…**

j^1, 人1: 人の1格，j^2, 人2: 人の2格，j^3, 人3 : 人の3格，j^4, 人4: 人の4格
et^1, 何1: 事物の1格，et^2, 何2: 事物の2格，et^3, 何3: 事物の3格，et^4, 何4: 事物の4格
これらの人や事物が特定のものに限定される場合は［　］を用いて，例えば 人4［女性］, 何4［約束ごと］などと記した．
❷ $sich^3$, $sich^4$, 再帰的意味の所有代名詞 *sein* はイタリック体で示した．

8. 用例

❶ ── で用例の始まりを示した．
❷ 用例が多い場合は ━ を用い，見出し語が密接に結びつく語句やパターンによって，━《前置詞と》，━《場所を示す語句と》，━《現在分詞の形で》，━《j^4/et^4+不定詞［句］と》などと区分した．また，例えば前置詞と結びつく用例が多ければ前置詞のアルファベット順に並べて，前置詞をボールド体にした．
❸ 用例中に そのままの形で用いる見出し語は ～ で示した．ただし，次の場合はイタリック体で全書した．
① 見出し語のつづり字が1文字ないし2文字，あるいは略語
② 文頭で
③ 大文字，小文字のどちらでもよい．両形を並記
④ 1･3人称複数の定動詞
⑤ 名詞の複数形が単数形と同じ
❹ 用例中に現れる見出し語の変化形はイタリック体で全書した．また現在分詞，分離動詞の zu 不定詞の zu 以外の部分を全書した．
❺ 用例中の見出し語の名詞，形容詞などの格語尾はイタリック体で *～es*, *～er*, *～em* などと示した．
❻ 訳語，訳文や用例中の (　) は直前の字句との交換可能を，［　］は省略可能を，/ は前文との言い換え可能を表す．
❼ 訳語，訳文や用例中で適宜 ☛ によって参照語や説明箇所を参照させた．
❽ 訳語，訳文の直前，直後に適宜《　》によって語法上，文法上の，また (　) によって言語習慣上の注解ないし解説を添えた．注解，解説が長くなるときは ◆ を付けて当該記述の末尾に添えた．
❾ 語彙，語義，用例が独自の位相を持っていたり，特定の地域に限定された場合は，訳語，訳文の前に《　》によって《話》,《軽蔑的に》，また，《スイス》,《北部》などと表示した．xi ページ，別表1(語の位相)参照．
❿ 専門用語は〖　〗によって〖カトリック〗,〖鉄道〗のように表示したが，〖史〗,〖化〗のように略した場合もある．xi ページ，別表2(専門用語)参照．
⓫ 使用頻度の高い熟語や慣用句などはボールドイタリック体で本文の最後にまとめて意味，用法を記した．
ただし，語義記述の多い場合は語義区分ごとに記述した．
⓬ 諺や慣用句などはその表現の由来を記していっそうの理解をはかった．
例: ***weiße Mäuse sehen***《話》 i) 幻覚に襲われる; ひどく酔っている(白いネズミは存在しないと思われていたことから)．
⓭ 用例中に適宜 旧 によって旧正書法の表記を記した．
⓮ つづり によって，分かち書き/つなぎ書き，大文字書き/小文字書きなどのバリエーションを示した．

9. 語源

❶ 本文の最後に〖　〗に入れて適宜，語源，また見出し語と派生関係にある語を挙げた．
❷ 見出し語が外来語の場合，原語名を記した．複数の言語を経てドイツ語に入ったものは原則として最後の言語名を記した．

10. 名詞

❶ 性の表示の後に / を用いて，その前と後にそれぞれ単数 2 格と複数 1 格の形を，見出し語の部分を ~ で示して挙げた．
❷ 複数形で語幹の母音が変音するなど，見出し語とは語形がかなり異なるものはそれらを全書した．基本語および一部の一般語についてはそれらを別に見出し語として立てた．それが複合名詞の複数形の場合は，規定語の部分をハイフンで示して基礎語の部分のみを挙げた．
❸ 複数形がないか用いられないものは / の右を空欄とした．
例: **Obst** … 中 ~[e]s/ （英 fruit)《集合的に》**果物**，果実．
❹ 固有名詞，一部の略語，特定の成句でしか用いないものは単数 2 格と複数 1 格の形を挙げていない．
❺ 語義の前に（ ）によって，女，小 としてその女性形，縮小形を挙げた．それらの女性形，縮小形は重要なものを別に見出し語として立て，（ ）の中に ＜ によって元の形を挙げた．
例: **Ärz·tin** … 女 ~/~nen （＜Arzt) **女医**．
❻ Name, Herz など，特殊な変化をするものは，〔 〕によってそれらの変化形をすべて挙げた．
例: **Na·me** … 男〔単 2 格: Namens; 3 格: Namen; 4 格: Namen; 複 Namen〕
❼ 常に定冠詞を伴うものは，その定冠詞を見出し語の前に付けた．
例: **der Rhein** … 男 (英 the Rhine)〖地名〗ライン川．

11. 動詞

❶ 発音表示の後に〔 〕によって活用を示した．〔⇨変化 〕の中の数字は巻末の付録「動詞変化表」(1899–1916 ページ)の番号である．
❷ 不規則変化動詞(強変化，混合変化)は単一語および基本語の非分離動詞では〔 〕によって，単数 2・3 人称現在，過去，過去分詞，接続法 II，命令法の順に形を挙げ，発音を添えた．ただし，現在，命令法，接続法 II は幹母音が変わるもののみを挙げた．分離動詞は基本語の過去，過去分詞の形のみを挙げた．
❸ 不規則動詞(非分離動詞を含む)の幹母音が変わる単数 2・3 人称現在，過去，過去分詞，幹母音が変わる命令法，幹母音が変わる接続法 II の形は別に見出し語として立て，＜ によって不定詞を挙げた．ただし，分離動詞は過去分詞形のみを見出し語として立てた．
❹ 規則変化動詞は第 1 次基本語の過去，過去分詞を見出し語として立てた．
❺ sein, wissen などの特殊な変化をする動詞の変化形はそれぞれ見出し語として立てた．
❻ haben, lassen, sein, werden, wissen など最重要の動詞には変化形を表にして掲げた．
❼ 規則動詞の中で特に注意を要するものには適宜，〔 〕の中にその過去や過去分詞の形を挙げた．
例: **ver·an·las·sen** …〔*du* veranlasst, *er* veranlasst; veranlasste; veranlasst; ⇨変化 8〕
❽ ひとつの動詞に他動詞と自動詞など二つ以上の用法があるときは，逐一改行して ━━ 自 などとした．
❾ 用例の中で，現在分詞，過去分詞としての用法を二つ以上まとめて挙げる場合は，━ (分詞の形で)，━ (現在分詞の形で)，━ (過去分詞の形で) と分けて記述した．
❿ 独立の形容詞，副詞と見られる現在分詞，過去分詞は別に見出し語として立てた．そのうち過去分詞は該当する動詞の記述の最後に ⇨ によって見出し語となっている過去分詞を参照させた．
見出し語とした現在分詞，過去分詞はそれぞれ〔過分〕，〔現分〕と表示し，＜ によってその不定詞を挙げた．
⓫ 見出し語とした現在分詞，過去分詞に形容詞，副詞としての語義がある場合は，改行して，━━ 形，━━ 副 として記述した．

12. 助動詞

❶ すべての話法の助動詞にそれぞれの変化形を表にして掲げた．
❷ 話法の助動詞の変化形は別に見出しを立てて，＜ によって不定詞を挙げた．

13. 形容詞，副詞

❶ 比較変化で，語幹の母音が変音するなど，不規則な語形変化をするものは 形，副 の後に比較級，最高級の形をボールド体で〔 〕に入れて挙げた．
❷ 不規則な比較変化形は別に見出し語として立て，＜ によって原級を挙げた．
例: **äl·ter** …〔比較級〕 ＜alt.
また，見出し語に立てた比較変化形に記述がある場合は，原級の見出し語の記述の最後に ⇨ によってそれを参照させた．
❸ 基本語で格語尾がついたり，比較変化のときに語幹末の e が脱落し，多少語形が変わるものはそれらの変化形を〔 〕に入れて示した．用例の中ではイタリック体で全書した．
例: **dun·kel** … 形〔dunkler, dunkelst; dunkl–〕… **暗い**，暗闇(やみ)の．──in einer *dunklen* Nacht ある暗い夜のこと．
❹ 一般語で，最高級が –est となるものは〔 〕に入れて，ボールド体で示した．
例: **lax** … 形〔–est〕

14. 略語，記号

❶ 原則として発音を示した後に 略，記号 と表示した．

❷ 略語，記号は訳語のあとに（　）に入れて ＜ によって元の形を挙げ，略語に残された文字をボールド体で示した．
例: **EU** [e:|ú:] 略 安 ~/　欧州連合（＜die **E**uropäische **U**nion）.
❸ 語義の記述や用例の中で略語，記号を示す場合は（　）に入れて，略，記号 としてその形を挙げた．
例: *zum Beispiel*　例えば（略 z. B.）.

◉別表

1. 語の位相

《古》　古くなった言葉
《話》　話し言葉，ときに，下品な言葉．口語体
《雅》　格調の高い上品な言葉．文語体
《学》　学生言葉
《比》　たとえ，比喩的な言い回し
《官》　固苦しいお役所言葉
《戯》　ユーモラスな言い回し
《方》　方言．ときに，《南部》，《オーストリア》，《スイス》 などと地域を示すこともある．

2. 専門用語（略記したもののみ）

〖医〗医学，解剖学，生理学，歯学
〖印〗印刷，製本
〖映〗映画
〖織〗織物，紡績
〖音〗音楽
〖化〗化学
〖海〗海事，造船
〖ギ神〗ギリシャ神話
〖旧聖〗旧約聖書
〖魚〗魚名，魚類学
〖漁〗漁業
〖教〗教育，教育学
〖空〗航空，宇宙
〖薬〗薬，薬学
〖軍〗軍事，軍隊用語
〖経〗経済，経済学
〖劇〗演劇
〖建〗建築
〖言〗言語学，文法，音声学
〖工〗工学，機械，工業
〖鉱〗鉱山，鉱物，鉱業
〖史〗歴史
〖社〗社会学
〖写〗写真
〖狩〗狩猟
〖宗〗宗教
〖商〗商業，簿記
〖植〗植物名，植物学
〖心〗心理学
〖神〗神学
〖新聖〗新約聖書
〖人類〗人類学
〖数〗数学
〖政〗政治
〖生〗生物，生物学
〖聖〗聖書
〖生化〗生化学
〖地〗地学
〖地理〗地理学
〖哲〗哲学
〖天〗天文
〖電〗電気，電子工学
〖動〗動物，動物学
〖鳥〗鳥名，鳥類学
〖農〗農業
〖美〗美術
〖服〗服飾，裁縫
〖文芸〗文学，文芸学，詩学，修辞学
〖法〗法律，法学
〖虫〗昆虫名，昆虫学
〖紋〗紋章
〖郵〗郵便
〖理〗物理学
〖料〗料理
〖林〗林業
〖ロ神〗ローマ神話
〖論〗論理学

［付記］聖書の書名の略記については共同訳聖書実行委員会の『聖書　新共同訳　旧約聖書続編つき』（日本聖書協会 1987）の略語に従った．

～ kommen 意識を回復する，正気に戻る．Er ist nicht bei ～. 彼は正気を失っている．

複合 **Macht·bewusstsein** 権力意識． **Pflicht·bewusstsein** 義務観念，責任感． **Zeit·bewusstsein** 時間意識．

Be·wußt·sein Ⓓ ⇀Bewusstsein.

Be·wusst·seins·spal·tung [bəvʊ́stzaɪnsʃpaltʊŋ] 囡 ～/ (➡Schizophrenie)〖医〗統合失調症．

be·wusst|wer·den* [bəvʊ́stve:rd(ə)n] 〔⇨変化 201〕 自 〔s〕 《*sich*³ *et*²》(何2を)はっきり自覚する．

つづり bewusst werden とも．

⁂be·zah·len [bətsá:lən ベツァーレン] 他 〔h〕 (英 pay) ❶ (a)《*et*⁴》(何4の代金を)**支払う**．── das Essen ～ 食事代を払う．eine Arbeit ～ 仕事の報酬を支払う．━《目的語なしで》mit Scheck (in/mit Euro) ～ 小切手(ユーロ)で払う．(b)《*j*⁴》(人4に)(賃金·謝礼·報酬などを)支払う．── *j*⁴ für *seine* Arbeit ～ 人4に賃金を支払う．━《過去分詞の形で》ein hoch (gut) *bezahlter* Posten 収入の高い地位．eine hoch *bezahlte* Stellung 高給職．*bezahlter* Urlaub 有給休暇．Er läuft (isst), als ob er's *bezahlt* bekäme.《話》彼はえらい勢いで(くまるで報酬つきであるかのように)走る(食う)．❷《*et*⁴》(何4[金額]を)(代価として)**支払う**．── 100 Euro ～ (代価として)100ユーロ支払う．Er hat ihr 100 Euro für die Bücher *bezahlt*. 彼はその本の代金として彼女に100ユーロ支払った．❸ 弁済する，(債務·契約額などを)支払う．── die Miete ～ 家賃を支払う．Steuern ～ 税金を納める．*seine* Schuld mit dem Leben ～ 自分の罪を死をもってあがなう．

*sich*⁴ *bezahlt machen* 引き合う，割りに合う．

参考「支払う」
bezahlen は「～の代金(報酬)を支払う」で，支払いの対象物品·サービスなどを表す名詞が目的語の場合に用いる．例: das Taxi *bezahlen* (タクシー代を支払う). den Friseur *bezahlen* (理髪代を支払う.) **zahlen** は「金額を払う，支払いをする」で，価格や金額を表す名詞が目的語になる．例: hundert Euro dafür *zahlen* (その代金に100ユーロ払う). Herr Ober, bitte *zahlen*! (ボーイさん，お勘定をお願いします). しかし両語の使用区分はあいまいなことが多い．例: die Miete *bezahlen* (*zahlen*) (家賃を払(支払)う).

be·zahlt [bətsá:lt ベツァールト] 〔過分〕 ＜bezahlen.

be·zahl·te [bətsá:ltə ベツァールテ] 〔過去，接 II〕 ＜bezahlen.

⁂Be·zah·lung [bətsá:lʊŋ ベツァールルング] 囡 ～/～en 《複数まれ》❶ **支払い**; 弁償，弁済．── nur gegen bare ～ 掛け売りお断り．❷ (➡Lohn) **給料**; **報酬**．── ohne ～ (nur gegen ～) arbeiten 無報酬で働く(無報酬では働かない).

be·zäh·men [bətsɛ́:mən] 他 〔h〕 (➡beherrschen) 抑制する，抑え込む．──《再帰的に》*sich*⁴ ～ (自分の)感情を抑える．

***be·zau·bern** [bətsáubərn ベツァウバーン] 〔⇨変化 10〕 他 〔h〕 **魅了(悩殺)する**; 夢中にさせる; 呪縛(じゅばく)する．

be·zau·bernd [bətsáubərnt] 〔現分〕 ＜bezaubern.

━ 形 魅了的な，チャーミングな．── eine ～e Frau チャーミングな女性．Sie ist ～. 彼女は魅力的だ．

Be·zau·be·rung [bətsáubərʊŋ] 囡 ～/～en 魅了，悩殺; 呪縛(じゅばく)．

***be·zeich·nen** [bətsáiçnən ベツァイひネン] 〔⇨変化 5〕 他 〔h〕 ❶ (a) (英 mark; ➡markieren)《*et*⁴》(何4に)**印**(記号·レッテル)**をつける**，(何4を)標示する．── Sitzplätze mit Nummern ～ 座席に番号をつける．die Betonung eines Wortes ～ アクセントの位置に印をつける．━ Der Weg ist *bezeichnet*. その道には道標がある．(b)《*et*⁴》(何4の)目印になっている，(何4を)指示している．── Ein Hügel *bezeichnet* die Stelle des Grabes. こんもり盛り上がったところがその墓のある所である．(c) (英 describe) (目印や特徴によって)説明する．── *j*³ *et*⁴ ～ 人3に何4を(具体的に)説明する．einen verlorenen Gegenstand ～ 紛失物の特徴を説明する．❷ (a) (➡benennen)《*j*⁴/*et*⁴ als ...》(人4/何4を ...と)**呼ぶ**，言う．── *j*⁴ als Verräter ～ 人4を裏切り者と呼ぶ．*et*⁴ als einen Fehler (als hervorragend) ～ 何4を誤り(すぐれている)とする．━《再帰的に》Er *bezeichnet* sich als Künstler. 彼は自称芸術家である．(b)《*et*⁴》(何4を)表す，意味する，(何4の)名称である．── eine Zahl durch Ziffer ～ 数を数字で表記する．Dieses Wort *bezeichnet* zwei Dinge. この単語には二つの意味がある．❸ (➡charakterisieren)《*et*⁴》(何4を)特徴づける，(何4の)表れである．── Die Tat *bezeichnete* seinen Mut. その行為は彼の勇気のしるしであった．

***be·zeich·nend** [bətsáiçnənt ベツァイひネント] 〔現分〕 ＜bezeichnen.

━ 形 (英 characteristic, typical) **特徴的な**，独得の．── ～ für *j*⁴ sein 人4特有のものである．Diese Äußerung ist für sie ～. こういう言い方はいかにも彼女らしい．ein ～*es* Merkmal 特徴．

be·zeich·nen·der·wei·se [bətsáiçnəndɐvái zə] 副 (人·物事に)特徴的なことだが．── *Bezeichnenderweise* hat er das ignoriert. 案の定(彼らしく)彼はそれを無視した．

***Be·zeich·nung** [bətsáiçnʊŋ ベツァイひヌング] 囡 ～/～en ❶《単数で》標識(記号)をつけること．❷ **名称**，命名; 標識，マーク，記号．

複合 **Amt·bezeichnung** 官職名． **Herkunfts·bezeichnung** 生産地表示． **Qualitäts·bezeichnung** 品質表示．

be·zei·gen [bətsáig(ə)n] 他 〔h〕 (雅) (感情や気持ちを)示す，表す，表明する．── *j*³ Achtung ～ 人3に尊敬の意を表する．

━ 再帰 〔h〕《*sich*⁴》(雅) (態度を)表明する．── *sich*⁴ dankbar ～ 感謝の意を表す．

be·zeu·gen [bətsɔ́yg(ə)n] 他 〔h〕 証言する，立証する．

Be·zeu·gung [bətsɔ́ygʊŋ] 囡 ～/～en 証言，立証．

be·zich·ti·gen [bətsíçtɪg(ə)n] 他 〔h〕《*j*⁴ *et*²》(人4に何2の)罪を着せる．── Er wurde des Mordes *bezichtigt*. 彼は殺人犯だとされた．

be·zieh·bar [bətsí:ba:r] 形 《副詞的用法なし》(家などが)入居できる，空いている．

be·zie·hen [bətsí:ən ベツィーエン] 〔bezog [bətsó:k ベツォーク]; bezogen [bətsó:g(ə)n ベツォーゲン]; ⇨変化 209〕 他 〔h〕 ❶《*et*⁴》(何4に)**覆いをかける**;《*et*⁴ mit *et*³》(何4に何3を)つける，張る．── ein Bett frisch ～ ベッドのシーツを替える．eine Geige mit Saiten ～ バイオリンに弦を張る．━ Das Sofa